

## 平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	都市魅力部
部(局)長名	中嶋 勝宏
理事名	原山 葉子 (シティプロモーション担当)

### 【基本姿勢】

まちが持続的に発展し、市民生活を支えていくためには、事業者による事業活動や地域コミュニティの核となる商業地の活性化を支援し、生活基盤となる雇用の創出を促進することにより、都市の活力を創造する産業の振興に向けた取組が重要です。それを推進するための道標として「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づいて、ビジョンの実現への取組を進めます。

我が国は、平成20年(2008年)をピークに人口減少の時代に突入しており、総人口の減少と同時に少子高齢化が急速に進展するといわれている中、本市の人口は、住宅の再開発を背景に現在も微増しています。

しかし、本市においても少子高齢化は着実に進み、いずれは人口が減り始めることが予測されることから、吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、持続的なまちの発展に向けて、まず今住んでいる市民に「住み続けたい」「このまちに住んで良かった」といった市への愛着や誇りが醸成されるよう効果的なシティプロモーションに取り組みます。

健康寿命延伸を図るための運動の習慣化に向けた支援やスポーツを通して感動を体験できる取組を進め、生涯スポーツ社会の実現に努めます。

また、伝統文化、地域文化の担い手を育成するための取組を推し進めるとともに、多文化共生のための指針を策定し、外国人市民にとっても暮らしやすい社会の実現に努めます。

### 【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

### 【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造	A
2	商店街等の活性化	A
3	シティプロモーションの推進	A
4	情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした都市魅力	A
5	吹田まつり	A
6	大学連携	A
7	生涯スポーツ社会の実現	A
8	文化会館の改修	B
9	芸術・文化の振興	A
10	多文化共生社会の実現	A

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 1	地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造
--------	------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	地域経済の循環及び活性化につながる産業の振興に向けた施策を推進するために、産業基盤を支える中小企業の事業活動の安定及び発展への取組を図ります。
---------------------	---

活動目標
「吹田市商工振興ビジョン2025」の基本理念及び基本方針を踏まえて、各施策のアクションプランの進捗管理と検証に取り組んで産業の振興に努めます。
開業率が高い本市の特徴を、さらに高めていくために吹田市、吹田商工会議所、日本政策金融公庫吹田支店の三者による「すいた創業支援ネットワーク」の連携強化とともに、各機関が持つ強みを活かせる役割分担を明確にして、総合的な創業支援に取り組めます。
産業の振興は中小企業者の発展が不可欠な要素であり、中小企業活性化を支援する施策の充実化に取り組めます。
JOBナビすいたを拠点として、生活困窮者自立支援センターとも連携しながら、就職困難者をはじめとする求職者に対し、市内企業への職業紹介をはじめとした、きめ細かな就労支援を行い、雇用と定住の促進を図ります。
大阪労働局、大学、地域金融機関及び商工会議所等と連携し、市内外の大学生を対象とした「就職説明会」や「企業説明会」等を開催し、若い世代に対して魅力ある市内企業の情報発信や、企業との出会いの場の創出に取り組めます。

具体的な取組実績
アクションプランの進捗管理及び検証のため、取組状況等を取りまとめた検証シートに基づいて、吹田市商工業振興対策協議会での御意見等も伺い、各施策の進捗状況に応じて具体的な事業内容の変更や達成状況の把握に努めて、ビジョンの実現に向けた取組を進めました。
吹田市と吹田商工会議所との共催で、創業への様々な知識を修得するための創業塾を計4日間開催し25名、女性創業塾を計8日間開催し28名の受講者がありました。ネットワーク三者による創業者の情報を一元化し、創業後の課題解決や資金面等の支援に取り組めました。
中小企業の事業活動の維持、拡大を図るために、各種補助金制度の内容の見直しを進め、産業施策の充実化を図るとともに、企業訪問等において本市の支援策の周知及び活用実績につながる取組を進めました。
JOBナビすいたをはじめとする地域就労支援事業においては、これまでの経験を活かし、就労困難者をはじめとする求職者個々の状況や課題の整理を行うとともに、生活困窮者自立支援センターなど関係機関との連携も図りながら、きめ細やかな支援に努めました。
商工会議所、金融機関、大阪労働局及び近隣市等との連携による「就職合同説明会」や「吹田魅力発見企業フェスタ」を開催し、市内外の学生など若い世代と市内企業とのマッチングの場の創出に努めました。

達成目標
産学官との連携を図り、事業者や経済団体等に吹田市産業振興条例、「吹田市商工振興ビジョン2025」、本市の産業施策等の浸透を図り、ビジョンの実現に取り組んでいくことで産業振興を促進します。

達成状況	達成度
本市の産業振興施策を推進する指針となる吹田市産業振興条例に基づくビジョンの実現を図るため、経済団体への説明、大学での授業、企業訪問等において、産業施策の方針の周知に取り組み、その浸透化を図りました。また、企業立地促進条例の一部改正及び地域未来投資促進法に基づく基本計画を策定し、さらなる産業振興につながる施策を展開しました。	A 達成

<p>「すいた創業支援ネットワーク」の支援を受けた創業者以外の創業者の実態把握に努め、事業活動の円滑な発展に向けた支援を推進します。</p>	→	<p>本市支援策の起業家交流会やセミナー等の参加者、又は金融機関や経済団体の支援による創業者の掘り起しに努めて、創業者の実態に応じて「すいた創業支援ネットワーク」の各機関につなげて、事業活動の発展へのフォローを図っています。</p>	<p>A 達成</p>
<p>中小企業の現状把握に努め、ニーズに応じた効果的な支援を行うことで、市内産業の底上げと企業のさらなる育成を図ります。</p>	→	<p>企業訪問及び経済団体等との懇談会において、事業者から現場での声をお伺いする中で、課題や要望等の集約に努め、補助金認定基準の見直し、社会経済状況や要望に応じたテーマによるセミナー開催等による産業施策への反映を図りました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>求職者の状況を踏まえた求人開拓と適切な職業紹介によって、マッチング率の向上を図ります。また、採用後の定着状況を確認するなど、継続した支援に努めます。</p>	→	<p>求職者のスキルや希望を踏まえた企業訪問による求人開拓や求職者の個々の状況に応じた適切な職業紹介を行うことで、マッチング率はおおむね36%に達しており、今後も更なる向上に努めます。また、採用後の定着状況確認を引き続き行い、離職の事実を把握した場合は、再就職支援を行いました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>市内外の大学生の市内企業への就職につながる取組を進めることで、若い世代の本市への定着を図ります。</p>	→	<p>商工会議所、金融機関、大阪労働局及び北摂市町等との連携による広域における「就職合同説明会」や「吹田魅力発見企業フェスタ」を開催し、市内外学生等に対する市内企業の認知度を深めることができました。今後も若い世代の本市への定着を図るため、就職支援施策の推進に努めます。</p>	<p>A 達成</p>

### 総合評価・総括

産業振興に関する基本理念、基本方針、施策及びアクションプランを定めた「吹田市商工振興ビジョン2025」を促進するためには、吹田市商工業振興対策協議会での検証機能の確立と各施策の実現に向けたPDCAサイクルを確実に実行することにより、地域経済の循環及び活性化に導くものと考えています。

就労支援施策については、商工会議所、大学、金融機関及び大阪労働局などと連携し、企業説明会や就職面接会を開催しました。また、JOBナビすいたでは、求職者の個々の状況に応じた就職相談や適切な職業紹介を行うとともに、ミニ企業説明会、シニア就職面接会、就職支援講座や就職活動に役立つ各種セミナーを開催し、求職者の市内企業への就職の促進に努めるなど、雇用機会の拡大に取り組みました。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 2	商店街等の活性化
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	商業団体、地域住民等との協働により、人が交流し、安心して買い物ができ、地域コミュニティの向上など公共的役割を積極的に担う商店街等を支援し、地域住民のニーズや地域課題、地域の特性に応じた魅力ある商業地づくりを進めます。
---------------------	--

活動目標
活性化に取り組む商店街等との協働により、商店街が地域コミュニティの核となり、個店の魅力向上を図り、地域になくてはならない魅力ある商業地づくりを進めます。
商業関係者との意見交換などを通して、商店街等が抱える課題の抽出やニーズの把握に努めます。

具体的な取組実績
JR吹田駅南立体駐車場跡の活用について、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会及び地元商店街と意見交換を行い、同跡地の暫定利用に向けて協議を行いました。 他の地域においても、商店街等を中心とする活性化に向けた協議の場へ参画し、意見交換・情報提供などを行いました。
商店街等に訪問し課題や現状について、また、今後の取組などについて意見交換を行いました。

達成目標
JR吹田駅前南立体駐車場跡の利活用について、商店街活性化に向けた地元商店街やNPO団体等の要望が取り入れられるよう支援を行います。また、再生に向けた取組を行うニュータウン近隣センターに対して、関係部局と連携し継続した支援を行います。
活性化に取り組む商店街など現状の把握に努め、空き店舗活用事業の促進や情報発信など地域の特性に応じた支援を行います。

達成状況	達成度
JR吹田駅南立体駐車場跡の利活用について、商店街活性化に資する取組としてNPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会と土地の賃貸借契約を締結し、平面駐車場の運営を開始されました。また、同敷地内に設置されるコミュニティスペースの開設に向け支援を行いました。 また、竹見台及び桃山台近隣センター再生に向けたまちづくりを進めるため関係部局と連携し、情報共有に努めながら継続した支援を行いました。	A  達成
商店街等が主体性を持って行うイベントや施設整備、空き店舗活用などについて、補助金の交付など継続した支援を行いました。 また、商店街等の現状を把握し、今後の支援策等について検討を行いました。	A  達成

<b>総合評価・総括</b>
JR吹田駅南立体駐車場跡地の活用については地元商店街等と協議を重ね、JR吹田駅周辺まちづくり協議会が暫定利用として平面駐車場の運営及びコミュニティスペースの設置を行うことになりました。商店街活性化に資する取組として効果的な活用となるよう継続的な支援を行うとともに、長期的な活用については関係部局と連携した支援が必要であると考えています。 千里ニュータウン地域では、千里北地区センターや竹見台・桃山台近隣センターの再整備に向けた取組について関係部局と共に実現に向け支援を行っています。 それぞれの事業が実施され、商店街及び地域の活性化に繋がるよう、引き続き、地元の商店街等と協働による取組と効果的な支援を行ってまいります。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 3	シティプロモーションの推進
--------	---------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、職員一人ひとりがシティプロモーションを担当するという庁内意識向上を図るとともに、市民には市の魅力に気づいてもらう取組を進めます。
---------------------	--

活動目標	具体的な取組実績
若手職員を中心としたシティプロモーション提案プロジェクトチーム「enZINE（エンジン）」をさらに充実させ、従来の組織枠を越えたクロスファンクショナル（機能横断型）チームを構築し、フレキシブルな活動が実施できる体制を整えます。	新規採用職員を含めた18人のメンバーによる第2期の「enZINE」として、「映像制作」・「グッズ製作」・「平成28年度からの継続企画」・「新企画」の4グループで活動し、1月には各グループによる成果発表会を実施しました。
外部委員で構成されるアドバイザー会議等を開催し、具体的なプランの検討を進めます。	学識経験者・メディア関係者・市民委員等の9人による外部有識者で構成される吹田市シティプロモーションアドバイザー会議を3回開催し、シティプロモーションの推進に関して幅広く意見を聴取しました。

達成目標	達成状況	達成度
効果的なシティプロモーションを推進するとともに、「enZINE（エンジン）」から出された企画・提案を、関係部局等と調整し、その実現を図ります。	「enZINE」の実績として職員統一名刺、オリジナル年賀状、オリジナル婚姻届、フォトスペースの企画が関係部局等との調整を経て実現に至り、報道等でも広く取り上げられました。	A 達成
吹田市シティプロモーションビジョンを具体化するためのアクションプランを策定します。	各部局が実施しているシティプロモーションに関連する事業に関する進捗管理を実施し、アクションプランとしての機能を持たせるとともに、シティプロモーションアドバイザー会議でも意見を聴取し、各部局へのフィードバックを行いました。	A 達成

総合評価・総括
<p>平成28年度（2016年度）に策定した吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、オリジナル婚姻届やフォトスペースの設置等、関係部局との連携により、市民にとって本市への愛着や誇りが醸成される具体的な実績を積み重ねてきました。</p> <p>今後も庁内においては全庁一丸となってシティプロモーション事業の推進に取り組む機運の醸成を図り、様々な事業者や大学等との連携による効果的、効率的な事業の実施に努めます。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 4	情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした都市魅力
--------	--------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	日本最大級の大型複合施設EXPOCITY内にある恵まれた立地条件を最大限活用し、本市の多彩な魅力を発信していきます。
---------------------	--

活動目標
EXPOCITYのイベント広場を活用したPRフェスタを開催します。
情報発信プラザ（Inforestすいた）での定期的なフェアの開催やすいたんを活用したプロモーション活動を進めます。

具体的な取組実績
EXPOCITYの事業主である三井不動産（株）や関係機関、大学と連携し7月と11月にPRフェスタを開催しました。
月ごとに本市の特性を紹介した展示フェアを12回開催しました。また、ガンバ大阪とコラボしたすいたんマスコットの取扱いやすいたんグッズの取扱い数を増やすなど機会をとらえてすいたんの認知度向上に努めました。

達成目標
EXPOCITYの他施設とも連携し、内容の充実を図りながら、市内の観光資源を効果的にPRし、市内回遊につなげ、地域経済の活性化を図ります。
フェアと連動した企画の実施やすいたんのプロモーションツールの作成など更なる認知度の向上を目指す取組を進めます。

達成状況	達成度
PRフェスタでは施設内の店舗との連携や本市の友好都市、市内の各病院に店舗いただくなど、本市の多彩な魅力を来場者へPRするなど、市内各所を訪れるきっかけづくりとなる取組を検討し、実施しました。	A 達成
月ごとの展示フェアでは鉄道事業者に協力いただき車両基地の見学を開催するなど、プラザから市内への回遊のきっかけづくりに努めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>平成29年度（2017年度）の来場者数は395,393人でした。昨年度の来場者数の255,867人と比較すると139,526人増と多くの方に本市の多彩な魅力を発信することができました。</p> <p>今年度も大規模商業施設の立地を最大限活用し、プラザでの展示フェアとあわせてイベント広場を活用したPRフェスタの開催など、様々な世代や層にプラザの認知度向上にもつながるような取り組みとしました。</p> <p>次年度以降も飽きのこない施設づくりを目指し、関係部署や事業者、大学とも積極的に連携し施設の効果的な活用を進めます。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 5	吹田まつり
--------	-------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田まつりは、2年後に第50回となる節目を迎えます。改めて「市民のまつり」という原点に立ち戻るため、新しい発想、新しい力で改革を推し進め、市民に一層愛されるイベントとしていきます。
---------------------	--

活動目標
吹田まつり実行委員会と協働し、第48回吹田まつりを「市民のまつり」をキーワードに進めます。
第50回吹田まつりに向け、今後のあり方を検討する「魅力アップ検討委員会」の設置を進めます。

具体的な取組実績
第48回吹田まつりは7月29日(土)、30日(日)の2日間にわたって3会場で開催され、計48,000人の方にお越しいただき、盛大に開催されました。
第50回の節目に相応しい市民のまつりとするため、実行委員会とは別に「魅力アップ検討委員会」を設置しました。

達成目標
「市民のまつり」の見える化をキーワードに、吹田まつりのこれまでの企画も大切に、新しい企画や運営を進めます。
新しい発想を取り入れるため、広く意見をお聞きし、第50回の方向性を検討します。

達成状況	達成度
従来のプログラムを刷新し、吹田まつりの歴史や企画、出場者の紹介など内容を充実した冊子に変更しました。また、新しい企画としてパレード実施前に市民参加型の水をかけあうスプラッシュパーティーを実施しました。	A 達成
「魅力アップ検討委員会」を立ち上げ、第50回の方向性を検討するためアンケートなどの意識調査に取り組みました。	A 達成

総合評価・総括
吹田まつりは自治会や商工会議所をはじめとする市内の諸団体が参画し、地域コミュニティの形成や市内商工業の発展を目的に実行委員会形式で開催しています。様々な団体が参画することで、市民のまつりとして一体感をもって、地域への関心や愛着を深めていただく取組としています。 そのことを基礎に、市内最大のイベントとして来年の第50回開催に向け、企画や内容の充実を図り、未来へとつなげるまつりとなるよう吹田まつり実行委員会で検討を進めます。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 6	大学連携
--------	------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	本市に所在する5大学・1研究機関との連携をさらに推進し、知的・人的資源の交流の場を提供することにより、市民や学生に地域への関心・愛着を深めていただくことを目指します。
---------------------	---

活動目標
各機関との連携協議会を開催するとともに、連携事業に関する情報・ニーズの集約に努め、情報共有及び交流活動を推進します。

具体的な取組実績
関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会を8回(各2回)実施し、意見交換や情報共有を行いました。

達成目標
各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展につなげます。

達成状況	達成度
大学教員による市政参画、共同研究の実施、市民向け講座の開講、公立施設での教育実習、学生ボランティアの活用など様々な連携を進めています。	A
	達成

総合評価・総括
本市には5つの大学と1つの研究機関(大学の研究科の設置あり)が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっています。各機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、まちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つ大きな存在です。引き続き、連携強化に向けた検討を進めてまいります。

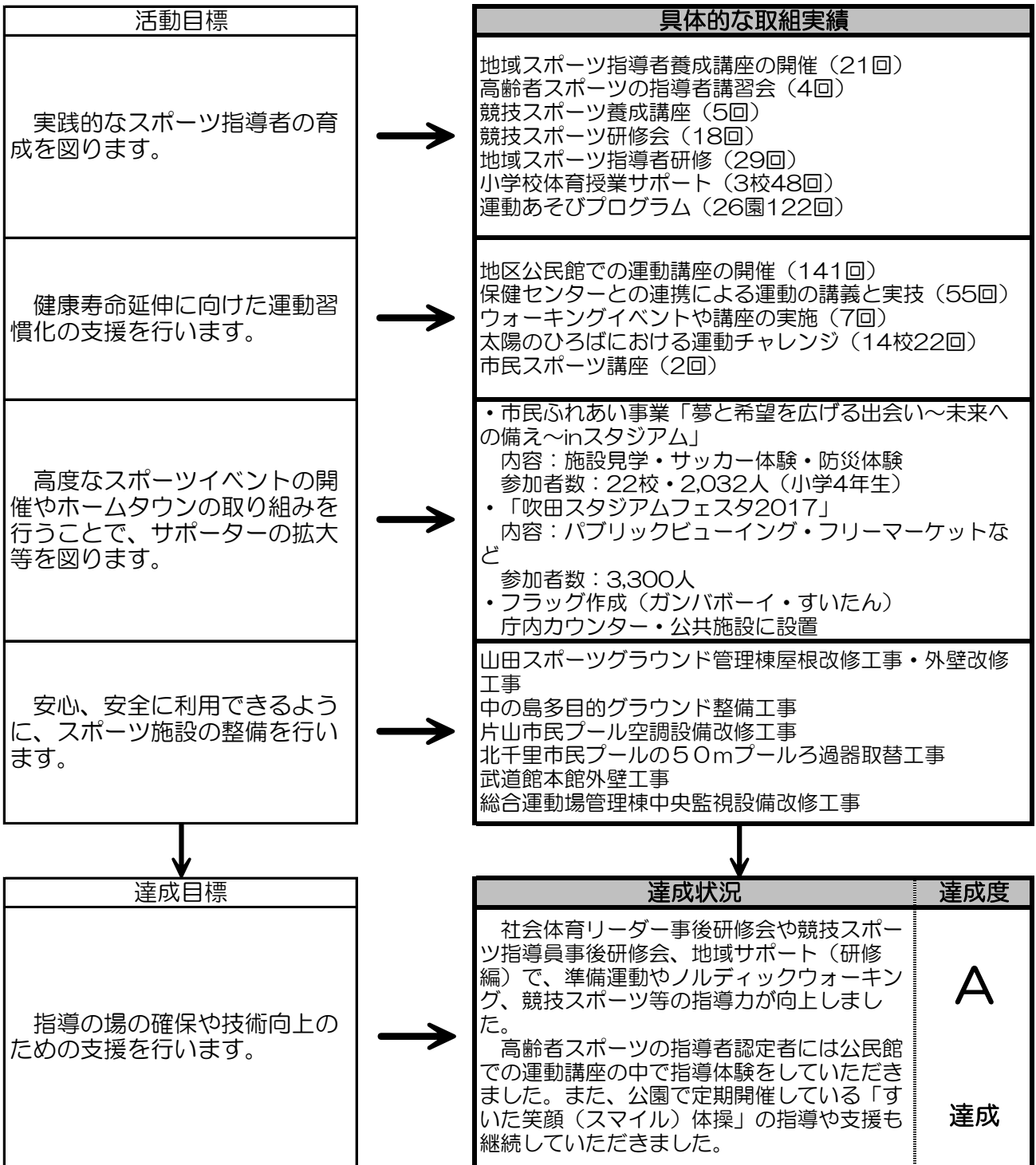


部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 7	生涯スポーツ社会の実現
--------	-------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の環境づくりを目指します。 サッカースタジアムを活用し、ガンバ大阪を応援する団体との連携を図り、市を挙げてガンバ大阪を応援することにより、スポーツ文化の推進や地域の活性化を目指します。
---------------------	--



<p>市民の健康づくりに向けた取組を進めるため、実践的なスポーツ指導者のもと、ウォーキング、ノルディックウォーキングと「すいた笑顔（スマイル）体操」の継続した普及に努めます。</p> <p>また、スポーツ関係団体との連携を強化し、より効果的な事業を展開していきます。</p>	→	<p>市民スポーツ講座ではウォーキングを安全に継続して取り組んでいただけるよう、「セーフティーウォーキング」について講義と実技を開催し、延べ67名の方の参加がありました。</p> <p>体育振興（協議）会に委託している地区行事においても、スポーツ関係団体と協力し、ノルディックウォーキングの普及に努めた結果、18地区で取り入れられました。</p> <p>また、全市行事や地区行事、市民体育祭の準備体操として、「すいた笑顔（スマイル）体操」が実施されました。</p> <p>高齢者のスポーツ指導者の認定者の協力により、大規模公園での定期的な「すいた笑顔（スマイル）体操」も実施しています。</p>	A  達成
<p>ガンバ大阪の試合の日程や結果等をホームページや市報などで広報することで、トップレベルのスポーツ観戦の機会の創出に努めます。</p> <p>また、ガンバ大阪アウェイ戦のパブリックビューイングの実施や、ガンバ大阪を応援する団体との連携により、市を挙げてガンバ大阪を応援することで、スポーツの推進や地域の活性化及びにぎわいの創出を図るとともに、より安心・安全・快適にスタジアムへご来場及びご利用いただけるよう、周辺及び施設の環境整備に努めます。</p>	→	<p>試合日程や結果など、ガンバ大阪を応援する情報を市報「すいた」やホームページ、庁内デジタルサイネージに掲出することで市民のガンバ大阪への関心を高め、トップレベルのスポーツ観戦機会の創出に努めました。</p> <p>ホームタウン意識の醸成や「ガンバ大阪のあるまち」というふるさと意識の醸成を図るため、ガンバ大阪と協力し、スタジアムにおいて小学4年生を対象に施設見学やサッカー体験、段ボールベッドの組立を体験する事業を実施しました。</p> <p>サッカーやガンバ大阪にあまり興味のない市民も参加できるイベントとして、フリーマーケットやバーガーフェスなどと、パブリックビューイングで構成される「吹田スタジアムフェスタ2017」を開催し、多くの市民がスタジアムを訪れました。</p> <p>スタジアムの環境整備については、夏期の熱中症対策として3Fコンコースに送風機を実験的に設置し、安全対策に努めました。</p>	A  達成
<p>老朽化の進むスポーツ施設に対して、計画的に施設整備を行い、安心、安全、快適な環境を整えます。</p>	→	<p>老朽化の著しいスポーツ施設において、安全面において緊急性の高いものから、維持補修を行いました。</p>	A  達成

総合評価・総括	
<p>健康寿命の延伸に向けた取組として、「運動習慣化プログラム推進事業」を実施しました。ウォーキングや「すいた笑顔（スマイル）体操」を推奨することで、運動に親しみのない方々の運動習慣化のきっかけづくりとなり、公園での自主的な実施にも繋がりました。中でも保健センターとの取組では、生活習慣の改善が必要な方への運動のサポートや、妊産婦への運動の講義等を実施し、運動習慣の必要性についてそれぞれの対象に合った啓発や推奨ができました。</p> <p>「運動あそびプログラム推進事業」では金蘭大学との共同研究を重ね共同セミナーを開催し、私立の保育者等へも運動あそびの必要性について認識を深めていただきました。</p> <p>また、地域スポーツ関係団体と協力し、ノルディックウォーキングの指導者講習会や行事を実施、支援することで、低体力の方でも手軽に取り組めるノルディックウォーキングを推奨し、普及することができました。</p> <p>これからも幼児期から高齢者までが生涯にわたって運動に取り組んでいただけるよう、地域諸団体と協力しながら健康寿命の延伸に向け、取り組んでまいります。</p> <p>ガンバ大阪のホームタウン推進については、ホームゲームの試合日程について、市報やホームページに加え庁内デジタルサイネージ等での掲出により広報強化を行いました。</p> <p>また、サッカーやガンバ大阪にあまり興味がない市民も参加しやすい内容のイベントをガンバ大阪を応援する団体や民間企業と協力し開催することにより、スタジアムやガンバ大阪に触れ合う機会が増えました。</p>	

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 8	文化会館の改修
目指すべき方向 (中期的な目標)	これまで培ってきた文化会館の持つ文化・芸術空間としての品格を大切に、さらに熟成させ、今後も吹田の文化の殿堂として、本市の誇る施設であり続けられるよう、改修を実施します。

全体の達成度
B
一部達成

活動目標
今後も施設を維持し、継続的、安定的にサービスを提供できるよう、改修工事を実施します。
改修後に文化会館を快適に利用していただけるよう、(公財)吹田市文化振興事業団と協議を重ねるなど連携を一層図ります。

具体的な取組実績
迫・吊り物等ホール舞台機構改修工事、楽屋口スロープ設置・館内スロープ手すり設置などの建築工事、受変電設備更新等電気設備改修工事、電気室空調機更新等機械設備改修工事を実施しました。
(公財)吹田市文化振興事業団、工事施工者、工事監理者等による毎週1回の定例会で、工事の進捗管理等情報共有や意見交換を行い連携を密にして、改修事業に取り組みました。

達成目標
平成30年4月から再開館できるように平成29年度中に工事を実施します。
再開館後の文化会館の集客につなげられるよう、文化会館以外の会場において、市民文化の向上に資する事業を(公財)吹田市文化振興事業団とともに実施します。

達成状況	達成度
機能回復のための建築、電気設備、機械設備、舞台機構の改修工事を実施するとともに、舞台床や内装などの修繕を行い、平成30年(2018年)4月1日から再開館します。 今後、施設の更なる長寿命化とともに、大・中ホール客席の天井の耐震化や施設のバリアフリー化などの課題にも対応する必要があり、施設の改修方針を再構築する必要があります。	B  一部達成
千里金蘭大学や千里市民センターで市民劇場等を実施し、ニュータウン地域の集客につなげました。また、文化会館以外で実施した市民文化祭の舞台公演においても(公財)吹田市文化振興事業団の舞台担当職員が音響・照明を担い共に事業を実施しました。	A  達成

総合評価・総括
平成28年度(2016年度)入札不調のため、当初の予定を大幅に縮小した内容での改修工事となりました。 経年劣化したホール舞台機構や乗用エレベーターの改修、舞台音響設備機器及び照明設備機器の部分更新等安全性の向上を図りました。 また、誰にとっても利用しやすい施設となるよう、1, 2階共用部トイレの改修、楽屋口スロープの設置、屋内スロープの手すり設置等を行った。 さらに、快適性維持するための諸室の内装修繕や備品の更新等、必要な改修を実施しました。 今後も、将来にわたって安定的な施設サービスを提供するため、更なる施設の長寿命化の検討を行い、計画的な維持保全に努めてまいります。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 9	芸術・文化の振興
--------	----------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	芸術文化活動や歴史・文化活動などの市民の幅広い文化活動を支援し、新たな市民文化の創造と地域文化の継承・発展に向けた環境づくりを目指し、文化が香り、芸術が花開く豊かなまちを守り育てていきます。
---------------------	---

活動目標
(公財)吹田市文化振興事業団、吹田市文化団体協議会をはじめとする文化団体等と連携し、市内各所で市民文化の醸成と地域文化の継承・発展のため、効果的な支援を行います。
歴史文化まちづくり協会と連携し、歴史文化まちづくりセンター事業のより一層の充実を図ります。

具体的な取組実績
千里金蘭大学で市民劇場や(公財)吹田市文化振興事業団との共催事業等を開催し、来場者の利便を図るために送迎バスの運行を行いました。また、浜屋敷を舞台としたリーディング劇を(公財)吹田市文化振興事業団、大阪大学、(特非)吹田歴史文化まちづくり協会の共催で実施しました。 吹田市文化団体協議会との共催では、協議会加盟各団体による市民文化祭や個人での参加も含め幅広く参加の機会を設けた芸術芸能フェスティバルを開催しました。
郷土史講座、能楽囃子などの伝統芸能、子供たちが集うぼかぼかひろばなどの地域交流事業、フレンドシップ交流都市である能勢町との交流事業として人形浄瑠璃の上演などを行いました。

達成目標
子どもたちをはじめ、より多くの市民が文化・芸術に親しみが持て身近に感じられるような、参加・体験型事業を通して市民の文化意識の向上を図ります。
市民が気軽に歴史や文化に親しみ、地域の文化的資源の活用を図ります。

達成状況	達成度
市民文化祭では、主催各団体の創意工夫により、「親子で川柳」などの市民公募、きりえや押絵といった当日の体験コーナー等を実施し、子供をはじめとした多くの市民参加がありました。 (公財)吹田市文化振興事業団・千里金蘭大学共同事業「オペラティックコンサート」では、市民公募の合唱団と吹田市在住の若手音楽家やプロの音楽家とが共演し、好評を得ました。	A 達成
浜屋敷を舞台としたリーディング劇は好評により、追加公演を実施しました。 能勢人形浄瑠璃は浜屋敷の特性を活かして、土間を舞台として上演され、好評を得たとともに、フレンドシップ交流について市民に知ってもらおう良い機会となりました。	A 達成

総合評価・総括
文化会館が1年間休館したため、市民劇場や市民文化祭等を千里金蘭大学や勤労者会館、市民センター等で開催しましたが、(公財)吹田市文化振興事業団、文化団体協議会、市内の大学等の協力と工夫により、新たな取組や新たな来場者の獲得にもつながりました。 今後とも、地域の文化的資源を活用を図りながら、幅広い市民の文化芸術活動の支援に努めます。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 10	多文化共生社会の実現
---------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	外国人市民等への支援に力点を置き、人権尊重の視点に立って、組織横断的に施策に取り組むため(仮称)多文化共生推進指針を策定します。また、各種団体の取組の充実を促進するため、事業の見直しに取り組みます。
---------------------	---

活動目標
指針の策定に向けて、市民ニーズを把握するため外国人市民等へのアンケート調査を実施します。また庁内での情報共有等を図るため連絡会議を設置するとともに学識者等の意見を聞く場を設けます。
外国人市民のための日本語教室の開催など、地域国際化に係る事業の見直しを行います。

具体的な取組実績
外国人市民向けのアンケートを実施し、その結果を分析しました。また、部長級職員による(仮称)吹田市多文化共生推進指針策定会議を3回開催し、外部有識者等による指針検討会議を3回開催しました。
平成29年(2017年)10月策定した「吹田市多文化共生推進指針」を基に庁内における事業の進捗管理を行うとともに、行政通訳窓口同行事業実施に向けた準備を進めました。

達成目標
アンケート調査の分析結果を基礎資料とし、庁内の連絡会議や学識者等で構成された検討会議での意見を聞きながら指針の素案を策定します。
外国人市民と日本人市民がともに尊重し合える社会の実現に努めます。

達成状況	達成度
(仮称)吹田市多文化共生推進指針策定会議及び外部有識者等による指針検討会議を開催し、「吹田市多文化共生推進指針」を策定しました。	A 達成
「吹田市多文化共生推進指針」において、全ての市民が国籍や民族、文化の違いを認め合い、人権が尊重され、対等な地域社会の一員として共に暮らすことができる多文化共生社会の実現が必要であることを明記しました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
吹田市多文化共生推進指針を策定したことにより、本市の多文化共生に対する方向性が確立されたことは大きな成果だと考えます。今後は同指針を基に外国人市民等への支援に力点を置き、人権尊重の視点に立って、組織横断的に事業が行われるよう取組みを進めます。